

別表第 1

人文科学研究科

修士課程

日本語日本文学専攻

	授業科目	単位数	備考
専門科目	(必修 A)		
	日本文学演習 I a	2	
	日本文学演習 I b	2	
	日本文学演習 II a	2	
	日本文学演習 II b	2	
	(必修 B)		
	日本語学演習 I a	2	
	日本語学演習 I b	2	
	日本語学演習 II a	2	
	日本語学演習 II b	2	
	(選択)		
	日本文学演習 III a	2	
	日本文学演習 III b	2	
	日本文学研究 I a	2	
	日本文学研究 I b	2	
	日本文学研究 II a	2	
	日本文学研究 II b	2	
	日本文学研究 III a	2	
	日本文学研究 III b	2	
	日本文学研究 IV a	2	
	日本文学研究 IV b	2	
	日本文学特殊講義 I a	2	
	日本文学特殊講義 I b	2	
	日本文学特殊講義 II a	2	
	日本文学特殊講義 II b	2	
	日本語学演習 III a	2	
	日本語学演習 III b	2	
	日本語学研究 I a	2	
	日本語学研究 I b	2	
	日本語学研究 II a	2	
	日本語学研究 II b	2	
	日本語学研究 III a	2	
	日本語学研究 III b	2	
	日本語学研究 IV a	2	
	日本語学研究 IV b	2	
	日本語学特殊講義 I a	2	
	日本語学特殊講義 I b	2	
	日本語学特殊講義 II a	2	
	日本語学特殊講義 II b	2	
	日本語教育研究 I	2	
	日本語教育研究 II	2	
	国語科教育研究 I	2	
国語科教育研究 II	2		

専攻横断科目	日本文学の主要問題 a	2
	日本文学の主要問題 b	2
	日本語学の主要問題 a	2
	日本語学の主要問題 b	2
	英語学の主要問題 a	2
	英語学の主要問題 b	2
	英米文学の主要問題 a	2
	英米文学の主要問題 b	2
	英米文化の主要問題 a	2
	英米文化の主要問題 b	2
	応用社会学の主要問題 I	2
	応用社会学の主要問題 II	2
	歴史学と地理学の主要問題 I	2
	歴史学と地理学の主要問題 II	2
	人間科学思想の主要問題 I	2
	人間科学思想の主要問題 II	2
	人間科学思想の主要問題 III	2
	人間科学思想の主要問題 IV	2
人間科学思想の主要問題 V	2	
関連基礎科目	日本古典文学基礎研究 I	2
	日本古典文学基礎研究 II	2
	日本近現代文学基礎研究 I	2
	日本近現代文学基礎研究 II	2
	日本語学基礎研究 I	2
	日本語学基礎研究 II	2
	日本語教育基礎研究 I	2
	日本語教育基礎研究 II	2
<p>専門探究コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本文学を専修するものは、必修A（8単位）、選択科目から24単位以上、併せて32単位以上修得すること。 2 日本語学を専修するものは、必修B（8単位）、選択科目から24単位以上、併せて32単位以上修得すること。 3 関連基礎科目は、4単位を上限として選択科目に充てることができる。 4 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。 <p>多元教養コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本文学を専修するものは、必修A（8単位）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。 2 日本語学を専修するものは、必修B（8単位）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて32単位以上修得すること。 3 関連基礎科目は、4単位を上限として選択科目に充てることができる。 4 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。 		

英語英米文学専攻
英語英米文学専攻

	授業科目	単位数	備考
専 門 科 目	(選択必修 A)		
	英米文学演習 I a	2	
	英米文学演習 I b	2	
	英米文学演習 II a	2	
	英米文学演習 II b	2	
	英米文学演習 III a	2	
	英米文学演習 III b	2	
	英米文学演習 IV a	2	
	英米文学演習 IV b	2	
	英米文化演習 I a	2	
	英米文化演習 I b	2	
	英米文化演習 II a	2	
	英米文化演習 II b	2	
	(選択必修 B)		
	英語学演習 I a	2	
	英語学演習 I b	2	
	英語学演習 II a	2	
	英語学演習 II b	2	
	英語学演習 III a	2	
	英語学演習 III b	2	
	英語学演習 IV a	2	
	英語学演習 IV b	2	
	(選択)		
	英米文学特殊講義 I a	2	
	英米文学特殊講義 I b	2	
	英米文学特殊講義 II a	2	
	英米文学特殊講義 II b	2	
	英米文学特殊講義 III a	2	
	英米文学特殊講義 III b	2	
	英米文学特殊講義 IV a	2	
	英米文学特殊講義 IV b	2	
	英米文化特殊講義 I a	2	
	英米文化特殊講義 I b	2	
	英米文化特殊講義 II a	2	
	英米文化特殊講義 II b	2	
	英語学特殊講義 I a	2	
	英語学特殊講義 I b	2	
	英語学特殊講義 II a	2	
	英語学特殊講義 II b	2	
	英語学特殊講義 III a	2	
	英語学特殊講義 III b	2	
	英語学特殊講義 IV a	2	
英語学特殊講義 IV b	2		
アカデミック・ライティング I a	1		
アカデミック・ライティング I b	1		
アカデミック・ライティング II a	1		
アカデミック・ライティング II b	1		

専攻横断科目	日本文学の主要問題 a	2	
	日本文学の主要問題 b	2	
	日本語学の主要問題 a	2	
	日本語学の主要問題 b	2	
	英語学の主要問題 a	2	
	英語学の主要問題 b	2	
	英米文学の主要問題 a	2	
	英米文学の主要問題 b	2	
	英米文化の主要問題 a	2	
	英米文化の主要問題 b	2	
	応用社会学の主要問題 I	2	
	応用社会学の主要問題 II	2	
	歴史学と地理学の主要問題 I	2	
	歴史学と地理学の主要問題 II	2	
	人間科学思想の主要問題 I	2	
	人間科学思想の主要問題 II	2	
	人間科学思想の主要問題 III	2	
	人間科学思想の主要問題 IV	2	
人間科学思想の主要問題 V	2		
科目関連基礎	英語英米文学研究 I	2	
	英語英米文学研究 II	2	
	英語英米文学研究 III	2	
	英語英米文学研究 IV	2	
<p>専門探究コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英米文学・文化を専修する者は、選択必修 A (12 単位以上)、選択科目を併せて 32 単位以上修得すること。 2. 英語学を専修する者は、選択必修 B (12 単位以上)、選択科目を併せて 32 単位以上修得すること。 3. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目 (専門科目に限る。) を、専攻横断科目と併せて 8 単位を上限として選択科目に充てることことができる。 4. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8 単位を上限として選択科目に充てることことができる。 <p>多元教養コース</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英米文学・文化を専修する者は、選択必修 A (12 単位以上)、専攻横断科目 (8 単位以上 12 単位以内)、選択科目を併せて 32 単位以上修得すること。 2. 英語学を専修する者は、選択必修 B (12 単位以上)、専攻横断科目 (8 単位以上 12 単位以内)、選択科目を併せて 32 単位以上修得すること。 3. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目 (専門科目に限る。) については、8 単位を上限として、選択科目に充てることことができる。 4. 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8 単位を上限として選択科目に充てることことができる。 			

応用社会学専攻

授業科目		単位数	備考
専門科目	(必修 A)		
	応用社会学演習 I	2	
	応用社会学演習 II	2	
	応用社会学演習 III	2	
	応用社会学演習 IV	2	

	特定研究Ⅰ	2	
	特定研究Ⅱ	2	
	(必修B)		
	総合演習Ⅰ	2	
	総合演習Ⅱ	2	
	史学地理学民俗学演習Ⅰ	4	
	史学地理学民俗学演習Ⅱ	4	
	(選択)		
	応用社会学特殊講義Ⅰ	2	
	応用社会学特殊講義Ⅱ	2	
	家族社会学特殊講義	2	
	経験社会学特殊講義	2	
	表象文化特殊講義	2	
	方法論研究Ⅰ	2	
	方法論研究Ⅱ	2	
	方法論研究Ⅲ	2	
	方法論研究Ⅳ	2	
	人類学特殊講義Ⅰ	2	
	人類学特殊講義Ⅱ	2	
	社会運動特殊講義	2	
	地域文化特殊講義	2	
	歴史学特殊講義Ⅰ	2	
	歴史学特殊講義Ⅱ	2	
	歴史学特殊講義Ⅲ	2	
	歴史学特殊講義Ⅳ	2	
	歴史学特殊講義Ⅴ	2	
	歴史学特殊講義Ⅵ	2	
	人文地理学特殊講義Ⅰ	2	
	人文地理学特殊講義Ⅱ	2	
	民俗文化特殊講義Ⅰ	2	
	民俗文化特殊講義Ⅱ	2	
	社会史特殊講義Ⅰ	2	
	社会史特殊講義Ⅱ	2	
専攻横断科目	日本文学の主要問題 a	2	
	日本文学の主要問題 b	2	
	日本語学の主要問題 a	2	
	日本語学の主要問題 b	2	
	英語学の主要問題 a	2	
	英語学の主要問題 b	2	
	英米文学の主要問題 a	2	
	英米文学の主要問題 b	2	
	英米文化の主要問題 a	2	
	英米文化の主要問題 b	2	
	応用社会学の主要問題Ⅰ	2	
	応用社会学の主要問題Ⅱ	2	
	歴史学と地理学の主要問題Ⅰ	2	
	歴史学と地理学の主要問題Ⅱ	2	
	人間科学思想の主要問題Ⅰ	2	
	人間科学思想の主要問題Ⅱ	2	
	人間科学思想の主要問題Ⅲ	2	

	人間科学思想の主要問題Ⅳ	2	
	人間科学思想の主要問題Ⅴ	2	
関連基礎科目	応用社会学基礎講義Ⅰ	2	
	応用社会学基礎講義Ⅱ	2	
	史学地理学民俗学基礎講義Ⅰ	2	
	史学地理学民俗学基礎講義Ⅱ	2	
	方法論基礎研究Ⅰ	2	
	方法論基礎研究Ⅱ	2	
	方法論基礎研究Ⅲ	4	
<p>専門探究コース</p> <p>1 必修科目（必修A〔6科目12単位〕又は必修B〔4科目12単位〕）、選択科目から18単位以上、併せて30単位以上修得すること。</p> <p>2 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。</p> <p>3 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）を、専攻横断科目と併せて8単位を上限として選択科目に充てることができる。</p> <p>多元教養コース</p> <p>1 必修科目（必修A〔6科目12単位〕又は必修B〔4科目12単位〕）、専攻横断科目（8単位以上12単位以内）、選択科目を併せて30単位以上修得すること。</p> <p>2 研究指導教員が必要と認めるときは、関連基礎科目については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。</p> <p>3 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目に限る。）については、8単位を上限として選択科目に充てることができる。</p>			

人間科学専攻

	授業科目	単位数	備考
専門科目	(必修)		
	人間科学総論Ⅰ	2	
	人間科学総論Ⅱ	2	
	人間科学演習Ⅰ	4	
	人間科学演習Ⅱ	4	
	(選択必修)		
	〔環境・芸術・思想〕		
	人間科学思想の主要問題Ⅰ	2	
	人間科学思想の主要問題Ⅱ	2	
	人間科学思想の主要問題Ⅲ	2	
	人間科学思想の主要問題Ⅳ	2	
	人間科学思想の主要問題Ⅴ	2	
	人間科学思想研究	2	
	言語思想研究	2	
	現代芸術思想研究	2	
	芸術思想研究	2	
	人間・環境学研究	2	
	環境倫理研究	2	
	生命倫理研究	2	
	国際環境ネットワーク	2	
国内環境ネットワーク	2		

	現代思想特論	2	
	言語イメージ特論	2	
	現代社会と表現	2	
	死生学研究	2	
	芸術と福祉	2	
	美学思想特論	2	
	環境教育学特論	2	
	フィールドワーク特論 I a	2	
	フィールドワーク特論 I b	2	
	フィールドワーク特論 II	2	
	〔心理臨床〕		
	人間関係学特論	2	
	社会心理学特論	2	
	人格心理学特論	2	
	投映法特論	2	
	臨床心理学特論 I	2	
	臨床心理学特論 II	2	
	臨床心理実習	2	
	臨床心理面接特論 I	2	
	臨床心理面接特論 II	2	
	臨床心理査定演習 I	2	
	臨床心理査定演習 II	2	
	臨床心理査定演習 III	2	
	トラウマ回復支援論	2	
	臨床教育学特論	2	
	精神医学特論	2	
	障害者（児）心理学特論	2	
	臨床心理基礎実習	2	
	心理学統計法	2	
	心理学研究法特論	2	
	心理療法特論	2	
関連基礎科目	〔環境・芸術・思想〕		
	現代思想基礎研究 I	2	
	現代思想基礎研究 II	2	
	環境学基礎原理 I	2	
	環境学基礎原理 II	2	
	〔心理臨床〕		
	臨床心理学基礎研究 I	2	
	臨床心理学基礎研究 II	2	
	臨床心理査定基礎研究 I	2	
	臨床心理査定基礎研究 II	2	
<p>1. 環境・芸術・思想を専修する者は、必修科目12単位、選択必修22単位以上（ただし、人間関係学特論、社会心理学特論、人格心理学特論、臨床教育学特論、精神医学特論、障害者（児）心理学特論、心理学統計法、心理学研究法特論から4単位以上、「環境・芸術・思想」の科目群から8単位以上）、併せて34単位以上を修得すること。</p> <p>2. 心理臨床を専修する者は、必修科目12単位、選択必修22単位以上（ただし、「環境・芸術・思想」の科目群から4単位以上、「心理臨床」の科目群から8単位以上）、併せて34単位以上を修得すること。</p> <p>3. 関連基礎科目は、4単位を上限として選択必修に充てることができる。</p>			

4. 研究指導教員が必要と認めるときは、他専攻の開講科目（専門科目、専攻横断科目〔「人間科学思想の主要問題Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」を除く。〕）を、8単位を上限として履修することができる。

博士後期課程

日本語日本文学専攻

授 業 科 目	単位数	備 考	
日本文学特殊研究演習Ⅰ	4		
日本文学特殊研究演習Ⅱ	4		
日本文学特殊研究演習Ⅲ	4		
日本語学特殊研究演習Ⅰ	4		
日本語学特殊研究演習Ⅱ	4		
日本語学特殊研究演習Ⅲ	4		
日本文学特殊研究Ⅰ	4		
日本文学特殊研究Ⅱ	4		
日本語学特殊研究Ⅰ	4		
日本語学特殊研究Ⅱ	4		
演習4単位以上を含め、計8単位以上を修得すること。			

英語英米文学専攻

授 業 科 目	単位数	備 考	
英米文学特殊研究演習(散文・小説)Ⅰ	4		
英米文学特殊研究演習(散文・小説)Ⅱ	4		
英米文学特殊研究演習(散文・小説)Ⅲ	4		
英米文学特殊研究演習(戯曲・詩)Ⅳ	4		
英米文学特殊研究演習(戯曲・詩)Ⅴ	4		
英米文学特殊研究演習(戯曲・詩)Ⅵ	4		
英語学特殊研究演習Ⅰ	4		
英語学特殊研究演習Ⅱ	4		
英語学特殊研究演習Ⅲ	4		
英米文化特殊研究演習Ⅰ	4		
英米文化特殊研究演習Ⅱ	4		
英米文化特殊研究演習Ⅲ	4		
英米文学特殊研究Ⅰ	4		
英米文学特殊研究Ⅱ	4		
英米文学特殊研究Ⅲ	4		
英語学特殊研究Ⅰ	4		
英語学特殊研究Ⅱ	4		
英語学特殊研究Ⅲ	4		
英米文化特殊研究Ⅰ	4		
英米文化特殊研究Ⅱ	4		
英米文化特殊研究Ⅲ	4		
以上のうち8単位以上を修得すること。			

応用社会学専攻

授 業 科 目	単位数	備 考
応用社会学研究演習Ⅰ	4	
応用社会学研究演習Ⅱ	4	
応用社会学研究演習Ⅲ	4	
応用社会学特殊研究Ⅰ	4	
応用社会学特殊研究Ⅱ	4	

応用社会学特殊研究Ⅲ	4	
人文地理学特殊研究Ⅰ	4	
以上のうち8単位以上を修得すること。		

人間科学専攻

授 業 科 目	単位数	備 考
臨床心理特殊研究Ⅰ	2	
臨床心理特殊研究Ⅱ	2	
臨床心理特殊研究Ⅲ	2	
臨床心理特殊研究Ⅳ	2	
臨床心理特殊研究Ⅴ	2	
臨床心理特殊研究Ⅵ	2	
環境・芸術・思想特殊研究Ⅰ	2	
環境・芸術・思想特殊研究Ⅱ	2	
環境・芸術・思想特殊研究Ⅲ	2	
環境・芸術・思想特殊研究Ⅳ	2	
環境・芸術・思想特殊研究Ⅴ	2	
人間科学研究演習Ⅰ	4	
人間科学研究演習Ⅱ	4	
人間科学研究演習Ⅲ	4	
以上のうち10単位以上を修得すること。		

自然科学研究科

修士課程

物理学専攻

		授 業 科 目	単位数	備 考
専 門 科 目	必 修	物理学研究演習Ⅰ	2	
		物理学研究演習Ⅱ	2	
		物理学特別研究	12	
	選 択 必 修 A	宇宙物理学特論Ⅱ	2	
		宇宙核物理学特論	2	
		天 文 学 特 論	2	
		物理学特殊講義Ⅰ	2	
		物理学特殊講義Ⅱ	2	
		半 導 体 物 理 学 特 論	2	
	選 択 必 修 B	光量子エレクトロニクス特論	2	
		電子物性物理学特論	2	
		電子相関物理学	2	
		物理学特殊講義Ⅲ	2	
		物理学特殊講義Ⅳ	2	
	基 礎 科 目	選 択 必 修	量子力学特論 A	
量子力学特論 B			2	
固 体 物 理 学			2	
半 導 体 材 料 物 理 学			2	
宇宙物理学特論Ⅰ			2	
原子核物理学特論			2	
天 文 学			2	
科 学 技 術 英 語			2	
科 学 リ テ ラ シ ー			2	

共通科目	選択必修	知的財産法	2	
必修科目16単位、選択必修A科目2単位以上、選択必修B科目2単位以上を含め、計30単位以上を修得すること。 なお、研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目4単位以内を前記選択必修科目の単位に充てることことができる。				

化学専攻

		授業科目	単位数	備考
専門科目	必修	化学研究演習 1	3	
		化学研究演習 2	3	
		化学研究実験	12	
	選択必修	物理化学特論 II	2	
		無機化学特論 II	2	
		有機化学特論 II	2	
		分析化学特論 II	2	
		高分子化学特論 II	2	
		化学特殊講義 1	1	
		化学特殊講義 2	1	
		化学特殊講義 3	1	
	化学特殊講義 4	1		
	基礎科目	選択必修	物理化学特論 I	
無機化学特論 I			2	
有機化学特論 I			2	
分析化学特論 I			2	
高分子化学特論 I			2	
共通科目	選択	知的財産法	2	
専門科目の必修科目18単位、基礎科目の選択必修科目6単位以上、専門科目の選択必修科目6単位以上、計30単位以上を修得すること。なお、研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目及び共通科目（選択）4単位以内を専門科目の選択必修科目の単位に充てることことができる。				

生物学専攻

		授業科目	単位数	備考
専門科目	必修	生物学研究演習 I	2	
		生物学研究演習 II	2	
		生物学研究実験	16	
	選	生化学特論	2	
		生体調節学	2	

択 必 修	植 物 生 理 学	2		
	分 子 遺 伝 学 I	2		
	分 子 遺 伝 学 II	2		
	細 胞 生 物 学 特 論	2		
	分 子 発 生 生 物 学	2		
	植 物 生 化 学 特 論	2		
	進 化 生 物 学	2		
基 礎 科 目	選 択 必 修	有 機 化 学 特 論 I	2	
		有 機 化 学 特 論 II	2	
		高 分 子 化 学 特 論 I	2	
		生 物 学 特 殊 講 義 I	2	
		生 物 学 特 殊 講 義 II	2	
		生 物 学 特 殊 講 義 III	2	
		生 物 学 特 殊 講 義 IV	2	
		科 学 技 術 英 語	2	
共 通 科 目	選 択	知 的 財 産 法	2	
<p>専門科目中の必修科目20単位、専門科目及び基礎科目中の選択必修科目14単位以上、計34単位以上を修得すること。なお、研究指導教員の指示を受けて他の専攻の講義科目及び共通科目（選択）4単位以内を前記選択必修科目の単位に充てることができる。</p>				

知能情報学専攻

授 業 科 目		単 位 数	備 考	
専 門 科 目	必 修	知 能 情 報 学 特 論	2	
		知 能 情 報 学 研 究 演 習 I	2	
		知 能 情 報 学 研 究 演 習 II	2	
		知 能 情 報 学 特 別 研 究	12	
基 礎 科 目	選 択 必 修	情 報 通 信 シ ス テ ム 特 論	2	
		知 的 シ ス テ ム 設 計 特 論	2	
		知 能 情 報 シ ス テ ム 特 論	2	
		組 合 せ 幾 何 学 特 論	2	
		計 算 機 シ ス テ ム 特 論	2	
		計 算 機 アーキテクチャ特論	2	
		数 理 認 識 特 論	2	
		情 報 解 析 特 論	2	
		生 体 情 報 シ ス テ ム 特 論	2	
		音 響 解 析 特 論	2	
		情 報 検 索 特 論	2	
		映 像 メディアシステム特論	2	
		可視化とシミュレーション特論	2	
		意 思 決 定 特 論	2	
		非 線 形 シ ス テ ム 特 論	2	
		計 算 理 論 特 論	2	
ロ ボ ティクス特論	2			
自 然 言 語 処 理 特 論	2			

		システム最適化特論	2	
	選択	知識データベース特論	2	
		画像工学特論	2	
		ソフトウェア特論	2	
		システムモデリング特論	2	
		科学技術英語	2	
共通科目	選択	知的財産法	2	
		知的財産法	2	
<p>1 必修科目 18 単位、選択必修科目 2 単位以上を含め、計 30 単位以上を修得すること。</p> <p>2 修了要件を充足した者には、修士(工学)の学位を授与する。なお、修士(理学)又は修士(情報学)を希望する者は、修了要件を充足し、以下の条件を満たすこと。 (i) 修士(理学)については、以下の科目から 2 科目以上を修得していなければならない。 組合せ幾何学特論、情報解析特論、数理認識特論 (ii) 修士(情報学)については、以下の科目から 2 科目以上を修得していなければならない。 情報通信システム特論、計算機システム特論、計算機アーキテクチャ特論、計算理論特論、ソフトウェア特論</p>				

博士後期課程

物理学専攻

授 業 科 目	単位数	備 考
(選択必修)		
理論宇宙物理ゼミナール	2	
宇宙粒子物理ゼミナール	2	
原子核物理ゼミナール	2	
光・量子エレクトロニクスゼミナール	2	
光物性ゼミナール	2	
半導体ゼミナール	2	
電子物性物理ゼミナール	2	
宇宙核物理ゼミナール	2	
(必修)		
物理学特別講義	2	
物理学研究演習Ⅲ	2	
物理学研究演習Ⅳ	2	
物理学研究演習Ⅴ	2	
必修科目 8 単位、選択必修科目 2 単位以上、計 10 単位以上を修得すること。		

生命・機能科学専攻

授 業 科 目	単位数	備 考
(選択必修 甲)		
生命・機能科学特殊講義Ⅰ	2	
生命・機能科学特殊講義Ⅱ	2	
生命・機能科学特殊講義Ⅲ	2	
(選択必修 乙)		

環境・資源科学ゼミナール	2	
エネルギー科学ゼミナール	2	
分子生命科学ゼミナール	2	
細胞生命科学ゼミナール	2	
(必修)		
生命・機能科学研究演習Ⅰ	2	
生命・機能科学研究演習Ⅱ	2	
生命・機能科学研究演習Ⅲ	2	
必修科目6単位、選択必修甲から2単位以上、選択必修乙から2単位以上、計10単位以上を修得すること。		

知能情報学専攻

授 業 科 目	単位数	備 考
(選択必修 甲)		
情報幾何特別講義	2	
情報調和解析特別講義	2	
多目的システム特別講義	2	
情報通信ネットワーク特別講義	2	
知的システム設計特別講義	2	
知能情報システム科学特別講義	2	
知的画像処理特別講義	2	
計算機アーキテクチャ特別講義	2	
音声工学特別講義	2	
立体映像システム特別講義	2	
情報検索特別講義	2	
数理認識特別講義	2	
情報可視化特別講義	2	
意思決定特別講義	2	
非線形システム特別講義	2	
(選択必修 乙)		
情報構造ゼミナール	2	
システム応用ゼミナール	2	
(選択必修 丙)		
知能情報学研究演習Ⅲ	2	
知能情報学研究演習Ⅳ	2	
知能情報学研究演習Ⅴ	2	
知能情報学研究演習Ⅵ	2	
知能情報学研究演習Ⅶ	2	
選択必修甲から2単位以上、選択必修乙から2単位以上、選択必修丙から6単位、計10単位以上を修得すること。		

経済学専攻

授 業 科 目		単位数	備 考
基本科目	マクロ経済学基礎研究	4	
	ミクロ経済学基礎研究	4	
	経済学史基礎研究	4	
	社会思想史基礎研究	4	
	日本経済史基礎研究	4	
	西洋経済史基礎研究	4	
	統計学基礎研究	4	
	計量経済学基礎研究	4	
	所得税法基礎研究	2	
	法人税法基礎研究	2	
発展科目	演 習 I	4	
	演 習 II	4	
	特別演習（論文指導）	8	
	課 題 研 究 I	2	
	課 題 研 究 II	2	
	経済学原論特殊研究 I	4	
	経済学原論特殊研究 II	4	
	経済学原論特殊研究 III	4	
	経済学史特殊研究	4	
	日本経済史特殊研究	4	
	西洋経済史特殊研究	4	
	経済史特殊研究	4	
	統計学特殊研究	4	
	計量経済学特殊研究	4	
	社会思想史特殊研究	4	
	財政学特殊研究	4	
	金融政策論特殊研究	4	
	経済政策特殊研究	4	
	労働経済学特殊研究	4	
	医療経済論特殊研究	4	
	日本経済論特殊研究	4	
	ファイナンス特殊研究	4	
	都市政策論特殊研究	4	
	経済体制論特殊研究	4	
	環境経済学特殊研究	4	
	国際経済学特殊研究 I	4	
	国際経済学特殊研究 II	4	
	国際金融論特殊研究	4	
	交通経済論特殊研究	4	
	産業経済学特殊研究	4	
	租税法特殊研究 I	4	
	租税法特殊研究 II	4	
租税論特殊研究	4		
企業組織論特殊研究	4		

演習Ⅰ及び演習Ⅱを併せた8単位又は課題研究Ⅰ及び課題研究Ⅱを併せた4単位のいずれかを修得すること。
 上記の単位に加えて、基本科目と発展科目の単位を含めて、計32単位以上を修得すること。
 なお、研究指導教員の指示を受けて、経営学専攻、会計専門職専攻及び人文科学研究科応用社会学専攻の講義科目8単位以内を発展科目の単位に充てることことができる。

経営学専攻

		授 業 科 目	単位数	備 考
演習		演 習 A I	4	
		演 習 A II	4	
		演 習 B I	4	
		演 習 B II	4	
基本科目	経営学系	経 営 学 特 論	2	
		経 営 史 特 論	2	
		経 営 学 史 特 論	2	
		経 営 管 理 論 特 論	2	
		経 営 戦 略 論 特 論	2	
		経 営 財 務 論 特 論	2	
		経 営 労 務 論 特 論	2	
		経 営 組 織 論 特 論	2	
		工 業 経 営 論 特 論	2	
		国 際 経 営 論 特 論	2	
		ア ジ ア 経 営 論 特 論	2	
		ベンチャービジネス特論	2	
		経 営 科 学 特 論	2	
	会計学系	企 業 会 計 論 特 論	2	
		財 務 諸 表 論 特 論	2	
		原 価 計 算 特 論	2	
		管 理 会 計 特 論	2	
		監 査 論 特 論	2	
		情報会計システム論特論	2	
		税 務 会 計 特 論	2	
		国 際 会 計 論 特 論	2	
	商学系	マーケティング・サイエンス特論	2	
		マーケティング管理論特論	2	
		国際マーケティング論特論	2	
		金 融 論 特 論	2	
		証 券 論 特 論	2	
		リスクマネジメント特論	2	
	共通	外 国 文 献 研 究 I	2	
	経営学系	経 営 学 特 殊 講 義	2	
		経 営 史 特 殊 講 義	2	
		経 営 学 史 特 殊 講 義	2	
		経 営 管 理 論 特 殊 講 義	2	
		経 営 戦 略 論 特 殊 講 義	2	

発展科目		経営財務論特殊講義	2	
		経営労務論特殊講義	2	
		経営組織論特殊講義	2	
		工業経営論特殊講義	2	
		国際経営論特殊講義	2	
		アジア経営論特殊講義	2	
		ベンチャービジネス特殊講義	2	
		経営科学特殊講義	2	
会計学系		企業会計論特殊講義	2	
		財務諸表論特殊講義	2	
		原価計算特殊講義	2	
		管理会計特殊講義	2	
		監査論特殊講義	2	
		情報会計システム論特殊講義	2	
		税務会計特殊講義	2	
		国際会計論特殊講義	2	
商学系		マーケティング・サイエンス特殊講義	2	
		マーケティング管理論特殊講義	2	
		国際マーケティング論特殊講義	2	
		金融論特殊講義	2	
		証券論特殊講義	2	
		リスクマネジメント特殊講義	2	
共通		外国文献研究Ⅱ	2	
応用科目	経営学系	マネジメント実務講義Ⅰ	2	
		マネジメント実務講義Ⅱ	2	
		マネジメント実務講義Ⅲ	2	
		ファイナンス実務講義Ⅰ	2	
		ファイナンス実務講義Ⅱ	2	
	会計学系	アカウンティング実務講義Ⅰ	2	
		アカウンティング実務講義Ⅱ	2	
		アカウンティング実務講義Ⅲ	2	
	商学系	マーケティング実務講義Ⅰ	2	
		マーケティング実務講義Ⅱ	2	

- 1 経営学コースを履修する者は、必修科目「演習AⅠ」「演習AⅡ」8単位、基本科目から10単位以上、発展科目から10単位以上、併せて30単位以上を修得しなければならない。なお、研究指導教員の許可を得て、1年次で「演習AⅠ」のほか「演習AⅡ」を履修することができる。
 ビジネスコースを履修する者は、必修科目「演習BⅠ」「演習BⅡ」8単位、基本科目と応用科目から22単位以上、併せて30単位以上を修得しなければならない。なお、研究指導教員の許可を得て、1年次で「演習BⅠ」のほか「演習BⅡ」を履修することができる。
- 2 研究指導教員の指示を受けて、経営学コースを履修する者にあつては応用科目、経済学専攻、会計専門職専攻及び人文科学研究科応用社会学専攻の講義科目から8単位以内を基本科目又は発展科目の単位に、ビジネスコースを履修する者にあつては発展科目、経済学専攻、会計専門職専攻及び人文科学研究科応用社会学専攻の講義科目から10単位以内を基本科目又は応用科目の単位に充てることができる。

博士後期課程

経営学専攻

授 業 科 目	単位数	備 考
(必 修)		
演 習 I	4	
演 習 II	4	
演 習 III	4	
(選 択)		
経 営 学 特 殊 研 究	4	
経 営 史 特 殊 研 究	4	
経 営 学 史 特 殊 研 究	4	
経 営 管 理 論 特 殊 研 究	4	
経 営 戦 略 論 特 殊 研 究	4	
経 営 財 務 論 特 殊 研 究	4	
経 営 労 務 論 特 殊 研 究	4	
経 営 組 織 論 特 殊 研 究	4	
工 業 経 営 論 特 殊 研 究	4	
国 際 経 営 論 特 殊 研 究	4	
ア ジ ア 経 営 論 特 殊 研 究	4	
ベンチャービジネス特殊研究	4	
経 営 科 学 特 殊 研 究	4	
企 業 会 計 論 特 殊 研 究	4	
財 務 諸 表 論 特 殊 研 究	4	
原 価 計 算 特 殊 研 究	4	
管 理 会 計 特 殊 研 究	4	
監 査 論 特 殊 研 究	4	
情 報 会 計 シ ス テ ム 論 特 殊 研 究	4	
国 際 会 計 論 特 殊 研 究	4	
マ ー ケ テ ィ ン グ ・ サ イ エ ン ス 特 殊 研 究	4	
マ ー ケ テ ィ ン グ 管 理 論 特 殊 研 究	4	
金 融 論 特 殊 研 究	4	
証 券 論 特 殊 研 究	4	

リスクマネジメント特殊研究	4	
<p>必修科目「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」「演習Ⅲ」12単位、選択科目4単位以上、計16単位以上を修得すること。なお、研究指導教員の許可を得て、1年次に「演習Ⅰ」のほか「演習Ⅱ」及び「演習Ⅲ」を、2年次に「演習Ⅱ」のほか「演習Ⅲ」を履修することができる。</p>		

専門職学位課程
会計専門職専攻

授業科目		単位数	備考
財務 会計系	基礎科目	国際会計の基礎	区分A (国際科目) 2単位以上 選択必修 12単位以上 選択必修
	発展科目	国際会計基準Ⅰ (概念フレームワーク)	
		国際会計基準Ⅱ (個別基準)	
		英文簿記会計	
	応用・実践科目	英文財務諸表	
		基礎科目	
	簿記Ⅰ (個別財務諸表)		
	簿記Ⅱ (連結財務諸表)		
	財務会計演習Ⅰ (個別財務諸表)		
	財務会計の基礎		
	財務諸表Ⅰ (個別財務諸表)		
	財務諸表Ⅱ (連結財務諸表)		
	発展科目	財務会計演習Ⅱ (連結財務諸表)	
		財務会計演習Ⅲ (特殊会計)	
		簿記Ⅲ (特殊会計)	
		財務会計実務	
		財務諸表Ⅲ (特殊会計)	
		中小会社会計基準	
	応用・実践 科目	知的財産会計	
		会計情報システム	
会計ディスクロージャー (情報開示制度)			
公会計			
管理 会計系	基礎科目	管理会計の基礎	8単位以上 選択必修
		原価計算入門	
		原価計算Ⅰ (総論)	
		原価計算Ⅱ (総合原価計算)	
	発展科目	管理会計演習Ⅰ (管理会計実務)	
		上級管理会計	
応用・実践 科目	財務分析		
	管理会計演習Ⅱ (米国管理会計)		
監査系	基礎科目	職業倫理	2単位必修
		監査の基礎	
	発展科目	監査基準Ⅰ (監査制度・監査主体)	6単位以上 選択必修
		監査基準Ⅱ (監査実施論)	
		監査基準Ⅲ (監査報告論)	
		監査実務演習	
応用・実践 科目	国際監査実務		
	システム監査		
法律系	基礎科目	企業法の基礎	4単位以上
		会社法Ⅰ	

		会社法Ⅱ	2	選択必修
		租税法入門	2	
		租税法の基礎	2	
		法人税法Ⅰ（法人税の基礎）	2	
	発展科目	企業法（商法総則・商行為法・金商法）	2	
		会社法演習	2	
		企業法演習	2	
		法人税法Ⅱ（法人税法事例研究）	2	
		租税法演習	2	
		所得税法	2	
		相続税法	2	
消費税法		2		
民法	2			
応用・実践科目	国際税務	2		
経営・経済系	基礎科目	経営学	2	2単位以上 選択必修
		経営学演習	2	
		経営学応用演習	2	
		経営組織	2	
		経営倫理	2	
		マクロ経済学	2	
	発展科目	経営管理	2	
		経営戦略	2	
		コーポレート・ファイナンス	2	
	応用・実践科目	ミクロ経済学	2	
		マーケティング	2	
中国ビジネス		2		
ナレッジマネジメント・ERP		2		
情報・統計系	基礎科目	経営情報システム	2	区分B (情報科目) 2単位以上 選択必修
	発展科目	情報システムの分析と設計	2	
		データベースマネジメント	2	
	応用・実践科目	情報セキュリティ	2	
		会計ソフト実務	2	
	基礎科目	統計学Ⅰ（基礎）	2	
	発展科目	統計学Ⅱ（応用）	2	
統計学演習		2		
個別指導		会計専門職基礎演習Ⅰ	2	区分C (演習・指導科目) 2単位以上 選択必修
		会計専門職基礎演習Ⅱ	2	
		会計専門職発展演習Ⅰ	2	
		会計専門職発展演習Ⅱ	2	
		会計専門職応用演習	2	
		会計専門職実務演習Ⅰ	2	
		会計専門職実務演習Ⅱ	2	
		演習(論文指導)Ⅰ	4	
		演習(論文指導)Ⅱ	4	
		会計学実践講義基礎Ⅰ（個別財務諸表）	2	
		会計学実践講義基礎Ⅱ（会計規則・会計基準）	2	
		会計学実践講義応用Ⅰ（コーポレート・ファイナンスの理論）	2	
		会計学実践講義応用Ⅱ（コーポレート・ファイナンスの実務）	2	
		会計学実践演習	2	
		会計学入門演習	2	

修了要件

会計専門職専攻の学生は、次に定めるところにしたがって合計 52 単位以上を修得しなければならない。

1. 必修科目 2 単位
 監査系科目「職業倫理」 2 単位
2. 選択必修科目 合計 36 単位以上
 財務会計系科目 12 単位以上
 うち区分 A（国際科目）より 2 単位以上
 管理会計系科目 8 単位以上
 監査系科目 6 単位以上
 法律系科目 4 単位以上
 経営・経済系科目 2 単位以上
 区分 B（情報科目） 2 単位以上
 区分 C（演習・指導科目） 2 単位以上
3. 「演習（論文指導）Ⅰ」及び「演習（論文指導）Ⅱ」（合計 8 単位）を履修する者は、この 2 科目 8 単位を必ず修得しなければならない。
4. 1 年間に履修登録することのできる単位数の上限は 38 単位 とする。
5. 専門職指導主任の指示を受けて、経済学専攻及び経営学専攻の講義科目は、8 単位を上限として修了単位に充てることができる。ただし、必修及び選択必修の単位に充てることができない。

フロンティアサイエンス研究科
 修士課程
 生命化学専攻

授 業 科 目		単位数	備 考
必修	ナノバイオ研究演習 1	2	
	ナノバイオ研究演習 2	2	
	ナノバイオ研究実験	12	
選択必修 A	上級ナノサイエンス	2	
	上級バイオサイエンス	2	
	上級ナノバイオサイエンス	2	
	上級ケミカルサイエンス	2	
選択必修 B	核酸化学特論	2	
	ナノエレクトロニクス特論	2	
	セルエンジニアリング特論	2	
	生命無機化学特論	2	
	ナノバイオセンシング特論	2	
	ナノバイオアーキテクチャー特論	2	
	生命有機化学特論	2	
選択必修 C	ナノバイオ創薬特論	2	
	ナノバイオ医療診断特論	2	
	ナノバイオ食品／材料工学特論	2	
	アントレプレナーマネジメント	2	

必修科目 16 単位、選択必修 A 科目 4 単位以上、選択必修 B 科目 6 単位以上、選択必修 C 科目 2 単位以上、計 30 単位以上を修得すること。

博士後期課程 生命化学専攻			
授 業 科 目		単位数	備 考
必修	ナノバイオ研究演習 3	2	
	ナノバイオ研究演習 4	2	
	ナノバイオ研究演習 5	2	
選択必修 A	ナノバイオ特殊講義 1	2	
	ナノバイオ特殊講義 2	2	
	ナノバイオ特殊講義 3	2	
選択必修 B	ナノバイオゼミナール 1	2	
	ナノバイオゼミナール 2	2	
	ナノバイオゼミナール 3	2	
選択必修 C	国際研究演習	6	
必修科目 6 単位、選択必修 A から 2 単位以上、選択必修 B から 2 単位以上、計 10 単位以上を修得すること。			

別表第2 (単位 円)

入学受験料	35,000
科目等履修生検定料	10,000
研究生申請料	1,000
聴講生検定料	5,000

別表第3 (単位 円)

入学金	人文科学研究科・社会科学研究科(経済学専攻・経営学専攻)・自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科	300,000
	社会科学研究科(会計専門職専攻)	150,000

別表第4の(1) (単位 円)

授業料	人文科学研究科・社会科学研究科(経済学専攻・経営学専攻)	617,000
	自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科	803,000
	社会科学研究科(会計専門職専攻)	1,200,000

別表第4の(2) (単位 円)

研究実験費	145,000
-------	---------

別表第4の(3) (単位 円)

心理特別実習費	50,000
---------	--------

別表第4の(4)

在籍料 (単位 円)

前期	150,000
後期	150,000
通年	300,000

別表第4の(5)

(単位 円)

施設設備費	200,000
-------	---------

在学期間中毎年徴収する。

別表第5 (単位 円)

科目等履修料	1単位	20,000
研究生料	人文科学研究科・社会科学研究科	前期 100,000

		後期	100,000
		通年	200,000
	自然科学研究科・ フロンティアサイエンス研究科	前期	136,250
		後期	136,250
		通年	272,500
聴講料		1単位	15,000
研修料	社会科学研究科（会計専門職専攻）	前期	64,800
		後期	64,800
		通年	129,600

- ※ 自然科学研究科・フロンティアサイエンス研究科の研究生料は、前期・後期各36,250円の研究実験費相当分を含む。
- ※ 研修料は、消費税(8%)の税額を含む。